



1. ネパールチャリティーバザー

ネパールYMCA支援のための国際協力募金拡充を目的に「ネパールチャリティーバザー」を開催いたします。耐震補強・施設改修工事に伴い、例年とは実施内容を多少変更しての開催となります。ご支援の呼びかけ、ご参加をお願いいたします。

日 時：2月11日（月・祝）

11:00～15:00（予定）＊時間は決定次第案内します。

場 所：京都YMCA 三条本館地階・1階

目 的：ネパールYMCAが運営する児童養護施設支援への募金活動

内 容：物品バザー、ネパールカフェ（予定）

支援依頼内容：

1. バザー商品のご提供

お歳暮等、ファンド商品の寄贈をお願いします。

＊バザー商品は1月31日（木）～2月7日（木）の期間中、京都YMCAまでご持参願います。

2. 広報・イベントへの参加

多くの方への広報をお願いします。また、当日は奮ってご参加ください。

お申込み・お問合せ：京都YMCA会員部

(TEL) 075-231-4388／(Mail) kyoto@ymcajapan.org

2. リトリートセンターは、ボランティアスタッフと共に運営いたします。

自然豊かな野外活動・研修施設のリトリートセンターは、子どもからシニアまでさまざまな団体やグループに日帰りプログラムやキャンプ等でご利用いただいています。

センターでの楽しく安全な活動には、ボランティア（リーダー）のサポートが欠かせません。自然を楽しむコツや自然を大切にする心やマナーを伝え、野外での貴重な体験学習をサポートするボランティアスタッフとしてぜひご協力をお願いします。

ホームページにも募集要項を掲載していますのでご覧いただければ幸いです。

まずは下記までお問い合わせをお待ちしております。

お問合せ先：京都YMCAウエルネスセンター

(075-255-4709)

ホームページ：<http://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=989>

12月度 役員会報告

報告事項

●2月4日第2回EMCフォーラム開催のお知らせ。申込締切1月18日

●チャリティーボーリング大会(2/24 しょうざんボール)参加1/18締切

●3/23 DBC交流会(東京サンライズ30周年記念例会)ホスト:東京サンライズ→交流事業委員 ぜひ予定のうえ参加を

承認された事項

●新年例会登録料の件 メン:3000円

メネット:6000円 ゲスト:8000円

●今回の役員会に提出された事業報告を半期総会にて提出する件

1月 スケジュール

5日(土)	新年例会
18:00	グランドプリンスホテル
16日(水)	半期総会
19:00	グランドプリンスホテル
24日(木)	三役会
19:30	京都YMCA
31日(水)	役員会
19:30	京都YMCA

1月



15日	今西 英隆
19日	森 伸二郎
22日	宇高 史昭

編集後記



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2019
1

Bulletin
2019.1.1発行
第33巻第7号通巻397号

主 題

国 際 会 長 私たちは変えられる

"Yes we can change"

ア ジ ア 会 長 アクション

"Action"

西日本区理事 未来に残すべきものを守り育てる

"Let's protect and cultivate what should be passed on to the Future"

京 都 部 部 長 永遠の絆

"Will the circle be unbroken"

聖 句

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。
わたしは荒れ野に道を敷き砂漠に大河を流れさせる。

イザヤ書 43章19節



「京都部部長としてと」

西日本区京都部部長 川上 孝司

私がワイズメンズクラブに入会したのは1993年1月その年の3月に京都グローバルワイズメンズクラブが誕生した事は良く覚えています。入会当時はワイズの事も解らないままバンジョー担いで大阪、神戸のワイズメンズクラブに遊びに行っていました。その頃どういふ訳か京都より大阪神戸のクラブの方がクラブの勢いを感じていました。神戸クラブでは前田さん橋本さん城さん等若々しく知性のあるかっこいいワイズがいっぱいいらっしゃいました。「ワイズって凄い」自分もそのワイズの一員である事に誇りを感じた物です。京都にも私がかっこいいと思ったワイズがいらっしゃいました。鼻の下にチョボひげを生やし、タップダンスを踊るワイズでした。そう岡西ワイズです。そこでプリンスクラブを知る事になりました。私がワイズメンズクラブに入会してしばらくした頃、阪神淡路大震災が起きました。私のワイズの友人がたくさんいる神戸が大変な事になっている。その時凄いいことが起きました。京都のワイズメンズクラブの各クラブが次々と神戸へと出発しました。炊き出しの材料道具を車に積み神戸に向かったのです。現場では被災されたたくさんの方々の人盛りが出来、数百人分の食事があっという間に終了、気が付けばクラブメンバーは何一つ口にせずにつっこり笑って腹の虫をなかせました。凄いですよね。ワイズメンズクラブの一つ一つのクラブはあまり大きくありません。しかし一つ一つのクラブの仲間が力を合わせれば大きな力になるその事を実感しました。実はこの関係こそワイズメンズクラブ国際協会の原点であり、また京都部という単位における各クラブの一人一人の関係がそうであります。

京都部における各クラブの皆様の思いをどこまでサポート出来るのかが私の仕事と思っています。私の京都部部長としてやるべき課題はいろいろあります。その中で、いうまでもなくメンバー増強、次世代に向けてのクラブの若返りです。若いメンバーが加わることで活動内容の幅が広がりますし力があります。また見たことのない世界を見せてくれます。ここでは経験を持った先輩たちが老婆心という言葉で隠し、心を持って同じ思いで共に活動することが重要に思います。各クラブの独自の活動の中で共に学び、共に未来を語り合ひましょう。そこに伝統を重んじワイズダムをしっかりと心の中に持った先輩である私も含め、あなた方が必要とされます。

また私の思うのには、クラブ自身の世界を見る目、国際化です。地域における各クラブの地道な事業は大変重要であります。そのことを支える私たちは共にワイズメンズクラブ国際協会の一員であります。地域の人たちと繋がり支援する活動と共に同じ思いで世界に繋がっていることを忘れないでいたいのです。いうまでもなく私達の活動で得た資金、そして収められている会費の一部は世界に対する奉仕として国際事務所に送金されています。RBMやTOFがそうです。世界各国で活動するワイズメンは国際協会と繋がり同じ思いを持って活動しています。同じ思いを持った世界の仲間と共に語り合ひましょう。また国際状況がどのように変化しようと世界のワイズメンとの友情は永遠です。このことは世界平和のための大きな活動であります。私は心を持っていろいろ国とのIBCを推進していただくことを望みます。一度ハワイで合同例会をしたいものです。

会長主題

出会う
つなぎあわせる
よくしてゆく

会 長 宇高 史昭
副会長 三村 良行
澤田 哲平
書 記 飯尾 豊
会 計 田中 邦昭
外会長 宇高真知子

賛助月間

IBC・DBC

1月 例会案内

5日(土) 新年例会

今年は、ホテルの中華レストラン桃園にて開催いたします。

16日(水) 半期総会

恒例の半期総会。下半期の活動が実りあるものにするために、活発なご意見をお願いします。欠席しない様に。

例会出席

12月第一	13名
12月第二	15名
在籍者数	16名
メンバー	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切 手	0pt
現 金	0円
果 計	0円

ファンド

そば	20,940円
----	---------

果 計	394,062円
-----	----------

ニコニコ

12月第一例会	0円
12月第二例会	10,000円
果 計	14,000円

2018～2019年上半期を振り返って

第33代会長 宇高史昭

わがまを申し上げて昨期から連続して会長を務めさせて頂いています。今期、三役や役員をはじめ、クラブメンバー皆様のお支えにより、おかげを持ちましてトラブルなくあっという間に半期が過ぎました。この場を借りて、まずあらためて御礼申し上げます。

「出会う・つながりあわせる・よくしていく」を今期の会長主題に掲げましたが、YMCAのリ・ブランディングを機に、新しいロゴと共にスローガンに掲げられた「みつかる。つながる。よくなっていく。」を意識して、あと二年で35周年を迎える京都プリンスクラブの新しい歩みへの期待と私なりの決意を込めて、今期の活動テーマにしました。

最近、世界中で「〇〇〇〇ファースト」に象徴される個人（自国）優先主義的な発言や行動が目立っていることが私は気に掛かります。なり振り構わずトップを走ること自身誇りと社会への存在感を示す考え方は、一方で「多様性」の恩恵により、今日生かされている私たちの社会を自ら壊している気がして、私は心配です。子供たちに将来担ってもらう世界を現在の豊かさをそのまま引き継ぐ「持続可能」という考え方を崩していることに自省の意味から、これまで青少年の成長と育成を活動の柱に据えて活動を継続してきたプリンスクラブが、社会奉仕活動を通じて、子ども達にも、自分達の周りに目を向け、多様で、各々が違った価値観を尊重する「社会」を大切にしてほしい願いを持って、「新しい人との出会いや発見、協力しあいつながる働きかけ、そしていっしょに自分と周りをよくしていく活動」を続けていきたいと願っています。さらに、そのような思いを共有し、実現できるように新しいメンバーが加わってほしいと思います。

今期は、新たに加わったメンバーがこれからのクラブを担ってもらえる関わりを持ってもらえる運営の工夫を各事業委員会にお願いしました。これまでどおりの二つの委員会グループ編成だけではなく、正副2名の委員長体制で皆様にご負担をおかけしていますが、より多くのメンバーが忙しい中、時間をみつけてでも参加したいと思う例会ややり甲斐のある事業を後半も工夫して創り出していきたいと思っています。

少し小生意気なことを長々と書いてしまいました。どこまで出来るか未知数ですが、次期澤田会長への引き継ぎまで頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

12月第一例会

2018/12/05

藤尾 実

12月5日グランドプリンスホテル京都で12月第1例会が開催されました。京都市教育長である在田正秀氏をお招きして「京都市の教育 ～現状と課題～」と題して、ご講演いただきました。

国が豊かであるために「学力」の大切であること、現在の課題である「貧困・虐待・教育格差」のこと、その負の連鎖を断つために教育・学校が果たすべき役割について、お話いただきました。さまざまな課題のある現代社会において、学校教育の果たす役割の重大さを改めて痛感いたしました。

講演後、プリンスクラブメンバーより「子ども食堂」についての質問や「子どもの貧困」について、教育長への積極的な質問が出ました。感想の中では「長い間生きてきて、現在は物質的に情動的に豊かにはなったが、本当の豊かさとは何か？考えることが多い。やはり教育が一番大切である」という言葉も出ました。社会教育団体であるYMCAには「子ども達に、より多くの体験の機会をあたえること」を期待されるというお言葉をいただきました。

今期の会長主題「出会う・つながりあわせる・よくしていく」のもと、プリンスクラブでできることが何か考える大きなヒントを与えていただいた貴重な機会となりました。在田教育長ありがとうございました。



今年をしめくくる12月第二例会は、みんな楽しみにしている、クリスマス例会です。53人というたくさんの参加があり、いつもの、まじめで静かな(?)例会とは違う、賑やかな例会になりました。

オープニングは子どもたちによるキャンドルサービス。先導は岸ワイズ。少し照れている子や、慣れたもので堂々としている子も。やっぱり可愛いですね。「きよしこの夜」を歌うと、やはりクリスマスらしく、厳かな気持ちになります。英語の歌詞の方が歌いやすい人もいたかもしれません。

藤尾主事からは、子どもたちにも向けた、クリスマスのお話がありました。絵も使いながら、わかりやすいお話でした。

お料理は、子ども、大人それぞれに、クリスマスらしく豪華に、そして、アレルギーや好みにも配慮したお食事で美味しくいただきました。

ゲストの野村様のマジックは、「素人ですから」と言いながらなかなかのものでした。子どもたちは最前列に集まって何とかタネを見破ろうと必死でしたが、簡単にはいきませんね。

サンタクロースに扮した会長が登場する頃には、子どもたちは走り回り、大人はアルコールが回って大興奮。ドアプライズでは、当たった人、当たらない人、喜んだり、がっかりしたり。ホテルのお食事券が当たったIワイズ夫妻、「運を使い果たした」なんておっしゃってましたが、いえいえ、皆の運を開いてくれたと思います。

友達同士でするクリスマス会とは少し違う、家族や友人同士で楽しみ、語り合うクリスマス例会になりました。皆さまよいお年を迎えられますように。



First
Half

